

- ・ 教員着任のご挨拶
- ・ 診療科紹介 - 眼科診療科 -
- ・ 退職のご挨拶
- ・ Webからの初診予約のご案内
- ・ 東大VMC基金活動報告
- ・ 臨床試験のご案内



東京大学大学院農学生命科学研究科 附属動物医療センター 広報誌
Veterinary Medical Center, the University of Tokyo | NEWS LETTER NO.9 May 2024



お知らせ

教員着任のご挨拶



獣医内科学研究室 教授

奥田 優 Okuda, Masaru

2024年4月に獣医内科学研究室の教授として赴任した奥田 優と申します。私は長谷川篤彦先生が教授、辻本元先生が助教授時代の1994年に獣医内科学研究室を卒業し、引き続き大学院に進学、1998年3月に学位を取得いたしました。その後、2年間アメリカでがんの基礎研究を行った後に2000年3月より山口大学農学部（現 共同獣医学部）の獣医内科学研究室で24年間、教育、臨床、研究に勤んでまいりました。この間、人員の限られている地方大学に所属していたこともあり、犬と猫の内科系疾患全般の二次診療を行ってまいりました。その中でもリンパ腫・白血病などの血液系腫瘍性疾患を含む血液疾患に特に興味を持っておりました。そのため、専門科を有する東京大学大学院農学生命科学研究科附属動物医療センター（VMC）では血液・免疫科、腫瘍内科を担当させていただく予定です。

VMCの大きな役割は、一般動物病院からご紹介いただいた難しい病気の動物たちに高度な獣医療を提供すること、そして次世代を担う優秀な獣医師を育成することであると思います。私は動物の病態とクライアントのお気持ちを第一に考えながら、若い獣医師とともに高度獣医療を実践する中で自分自身も成長していきたいと考えております。診断や治療にお困りの症例がおられましたらぜひご紹介ください。どうぞよろしくお願いたします。

診療科紹介：眼科診療科

眼科診療科は、目に異常を表している動物の診察をしています。犬、猫以外に、エキゾチックアニマルや、ウマなどの大動物の診察を行うこともあります。「眼科」というと眼だけの異常を診察する診療科と思われがちですが、脳神経疾患、代謝・内分泌疾患、感染症、腫瘍性疾患、循環器、腎・泌尿器疾患などほとんどの疾患が眼症状を表します。もちろん、原発緑内障、遺伝性網膜疾患などの眼科特有の疾患もあります。眼科診療科では、そのような眼に症状を表している症例の眼科検査（眼科神経学的検査、涙液量検査、眼圧検査、スリットランプ検査、眼底検査、眼科超音波検査、血液検査など）を実施し、その検査結果から何が原因で眼に症状が出ているのか？を他の臨床症状と合わせて診断を進めていきます。視覚異常を表す症例は、神経科、画像診断科と連携して頭部CT/MRI検査と網膜電図検査（ERG）などを行います。糖尿病や腎不全、甲状腺や副腎の異常、感染症など内科疾患が原因として疑われる場合は内科診療科と連携して診断を進めていきます。

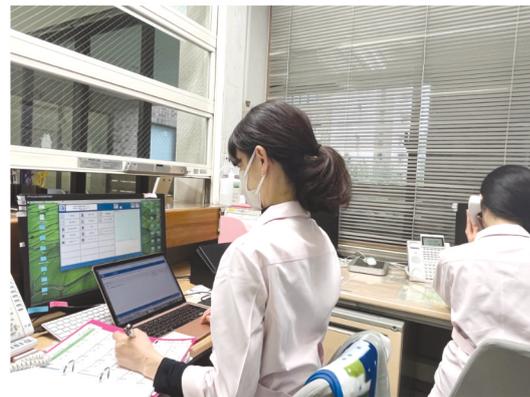
このように眼の症状は、非常に複雑で診断が難しいケースも多く、そのような症例に対応し飼い主様、紹介病院様が安心して受診・紹介できるよう心がけて日々診察を行なっています。



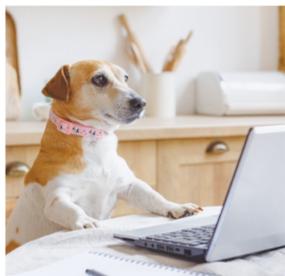
お知らせ Webからの初診予約開始

2024年3月よりwebでの初診予約の受付を開始いたしました。これまではお電話での受付のみであったため受付時間に限りがあり、また通話中で繋がらないことも多くご不便をおかけしてきました。今回のWeb予約の開始により、時間帯に関係なくご予約の連絡をしていただけるようになりました。

Web予約の際は、初診予約フォームに入力していただいた内容を確認してご案内する科を選定させていただいた上で、お電話で病院様へ予約日時のご連絡をいたします。折り返しのお電話が翌日（翌日が休診日の場合は休診日明けの診察日）となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。これまで通りお電話でのご予約も承っておりますので、ご都合に合わせてご利用ください。またweb上にデータ受け取りの為のサイトを開設いたしましたので、紹介状やその他のデータのアップロードにご活用ください。



Webからのご予約



当院HPの「動物病院の先生方へ」のページより初診予約フォームへアクセス

フォーマット記載内容確認後、当院よりお電話にて日時をご案内

予約確定後HP掲載の紹介状フォーマットに記入もしくは入力していただき、FaxもしくはHP掲載のサイトにアップロード（当日の持参も可）

お電話からのご予約



予約回線(03-5841-8004 平日11:00~16:00)へお電話

症状などを伺いご案内の科を選定し、改めてお電話にて病院様へ日時をご案内

予約確定後HP掲載の紹介状フォーマットに記入もしくは入力していただき、FaxもしくはHP掲載のサイトにアップロード（当日の持参も可）

退職のご挨拶

獣医外科学研究室教授の西村先生が退職いたしました。今後の益々のご活躍を、スタッフ一同祈念しております。

本年3月31日をもって退職いたしました。40年という長きにわたり、外科臨床だけでなく教育・研究に携わってこられたことは多くの方々の協力を頂けたおかげです。

最後に私から次世代の皆様へ「翠雨（すいう）という言葉をご贈りたいと思います。翠（みどり）は緑より少し青よりで、さらに青よりの碧（あお、みどり）、青へと続きます。翠雨は日本語にある100以上の雨を表す言葉の一つで若葉どきに降る雨のことを指しますが、新緑の頃の美しい雨の光景を表す言葉でもあります。今日は雨降っていて嫌だなと思うことも多いかもしれませんが、少し見方を変えてみるとその雨も素敵な光景に見えるかもしれません。これからの人生間違いなく色々なことが起きると思いますが、いろいろな色に彩られていると考えればそれもまた良しかもしれません。

人は年齢を重ねるほどそれまでの経験に縛られ、そこからの視点にとらわれやすくなります。皆さんにはぜひ少し視点を変え、新しいことに積極的にチャレンジをしていただければと思います。長い間ありがとうございました。

前 獣医外科学研究室 教授

西村 亮平 





お知らせ 東大VMC基金の活動報告



東京大学動物医療センター東京大学動物医療センター140周年記念基金（東大VMC基金）の設立から約4年が経過し、これまでに皆様からいただいたご寄附の総額も1億円を超えるほどになりました。改めて感謝申し上げます。寄付金の使途は、1 診療施設の整備、2 低侵襲治療の導入、3 獣医師の教育と育成、4 疾患研究の推進、と定められております。

昨年度は寄附金を利用して、デジタル細密画像の制作、夜間勤務獣医師の診療業務経費、および高度な検査や治療に必要な各備品の購入（高速滅菌機、超音波検査装置、ドブラー式血圧測定器、麻酔管理ユニット、関節鏡など）を行いました。当センターを訪れた皆様が少しでも快適に過ごせるよう、今後も飼い主様と動物たちにやさしい環境づくりを目指していきたくと考えております。

皆様からのご理解とご協力はスタッフにとって何よりの励みとなっております。詳細については、東京大学附属動物医療センター未来基金のホームページ（右上のQRコード参照）をご覧ください。これからも皆様からのあたたかいご支援を心よりお待ちしております。



Information

臨床試験のご案内



東大VMCでは現在以下の臨床試験プログラムを実施しています。当該症例に遭遇した場合は当センターへご紹介をお願いします。詳細は右上のQRコードを参照ください。

ネコの移行上皮癌に対するラパチニブの獣医師主導臨床試験

対象

- 移行上皮癌（膀胱・尿道）と診断されたネコ（疑いでも可）
- 抗がん剤、放射線療法、外科摘出を実施していない（NSAIDsは可）
- 薬剤（錠剤と粉薬）を1日1回経口投与できる
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる（4週間に1回程度の頻度）

犬の膀胱癌に対するIDO1阻害剤の臨床試験

対象

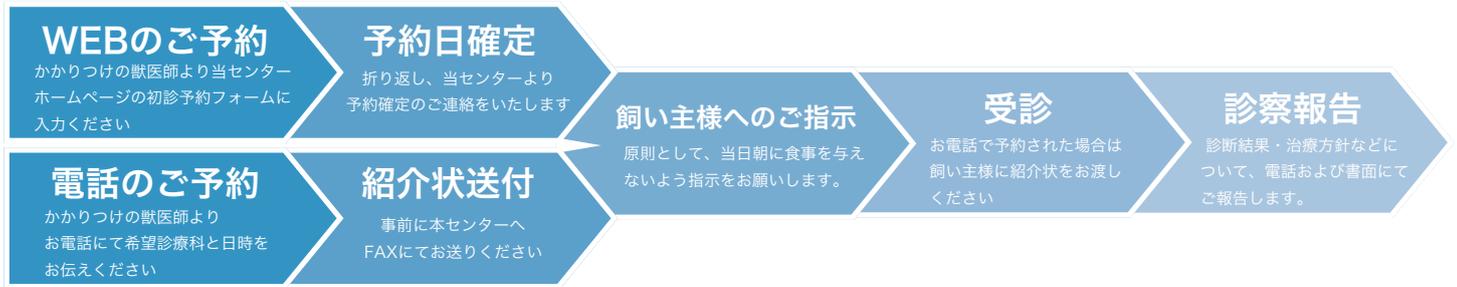
- 犬膀胱癌に罹患した症例（疑い症例の受診も可能です）
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（試験開始後1, 3, 5週目の通院が必要になります。）
- 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

犬の固形腫瘍に対する高分子型抗癌剤の臨床試験

対象

- 外科手術による根治的切除不能あるいは転移病変を有する悪性固形腫瘍のうち、放射線や抗癌剤などその他の有効な治療法が無い症例（脳腫瘍、末梢神経鞘腫、扁平上皮癌、線維肉腫、悪性黒色腫、甲状腺癌、肺癌、肝臓癌、膵臓癌、胃癌、腸腺癌、消化管間質腫瘍、副腎腫瘍、腎癌、尿路上皮癌、肛門嚢腺癌、乳癌、骨肉腫、血管肉腫、肥満細胞種、組織球性肉腫などのうち、標準治療の有効性が期待されない、または耐性となった症例）
- 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（治療期間中は1～2週に1度の頻度での通院が必要になります。）
- 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

初診予約～診察の流れ



初診外来表

診療科	初診 受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-11:00	△	○	○	△	○
外科系	9:00-10:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-11:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-10:00	○		手術		
行動	午前・午後				○	

△：要相談

予約専用（代表） ☎ 03-5841-8004（平日 11:00-16:00）

その他のお問合せ ☎ 03-5841-5420（平日 9:00-16:00）

行動診療科はFAXにて予約：03-5841-8190

（詳細は <http://www/vm/a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>）

アクセス



★電車でお越しの場合：

・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分

・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分（根津駅からは登り坂です）

★お車でお越しの場合：

・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

ご予約時の注意点（詳細は右下のQRコードをご参照ください）

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。そのため、一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・ 当センターでは現在放射線治療装置が使用できません。放射線装置での対応が必要となる場合は他の診療施設を紹介させていただくことになります。その可能性が高い場合は他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・ 眼科では設備の都合上、白内障手術は現在対応できません。
- ・ 診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ ご紹介後、当院の休診日(土日祝日など)で対応できない場合は、貴院でのご対応をお願いいたします。
(診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください)
- ・ 当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼い主様へ説明をお願いします。

- ・ **来院当日の朝は絶食の上でお連れください（飲水は可）**
(糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください)
- ・ 当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。
初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承ください。
- ・ 緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。

詳細はこちら▷



休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

Facebookもチェック



東京大学附属動物医療センター
Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

[住所] 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1

[TEL] 予約専用（代表）：03-5841-8004【受付時間】平日11:00～16:00

その他のお問合せ：03-5841-5420【受付時間】平日 9:00～16:00

03-5841-5413【受付時間】平日16:00～20:00

[URL] <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

編集・発行

編集委員：東京大学附属動物医療センター 広報委員会

発行日：2024年5月15日

発行所：東京大学附属動物医療センター